

附属中学保護者会&懇談会を開催

6月11日(土) 午前に実施された附属中学校の授業参観は、今回もたくさんの保護者が参観しました。生徒たちが授業に真剣に取り組む姿を観ることができたと思います。

同日、午後2時より開催されました保護者会と、その後の後援会主催の懇談会について、ご報告いたします。

■ 保護者会全体会

中学1年

1学年全体会には、108名の保護者が出席しました。

「体育祭」・「実習生とのお別れ会」のスライドを觀賞し、学年主任の山本先生より、お別れ会の企画で生徒が生き生きと取り組んでいた様子についてお話がありました。

学習面では、山藤先生より「大学で伸びる生徒」という統計結果をスライドで見ながら、「子ども達には点数に拘らず、学校中心の学習習慣・基礎の反復・学習の密度を上げることが大事である。」というお話がありました。また、林間学校は行き先の変更が報告されました。

中学2年

2学年全体会には、108名の保護者が出席しました。

大平校長先生のお話について、生活指導と学習指導について、国語科・数学科・英語科・学年主任の先生からお話がありました。家庭学習と宿題提出を着実に行って、基礎を確かなものにすることが大切であるという内容でした。また、イングリッシュキャンプは千葉県内にて7月下旬に実施されるとの報告がありました。

中学3年

3学年全体会には、92名の保護者が出席しました。

最初に外部教育機関からお招きした講師の先生による進路についての講演会をしていただいた後、引き続き高校2年の学年主任の高澤先生より、「両国高校に進学するために」の演題でお話をさせていただきました。

大学受験はまだ先の話とっておりましたが、進路について、子どもと一緒に考える時期に来たのだと実感しました。

進路講演会や両国高校についてのお話を聴くのは初めてでしたので、とても貴重な内容であったと思います。



大平校長先生のお話



高澤先生のお話



進路講演の様子

■各クラス別の懇談会

全体会の後、各クラスで開催された懇談会には、全体で約8割の保護者が参加しました。

今年もお菓子とお茶がクラス理事によって用意され、マイカップを持参しての茶話形式で開催されました。皆さま笑顔が絶えず、親睦を深めるいい機会になったのではないかと思います。

■中学1年

1年生が附属中学に入学してから初めての懇談会は出席者多数で、各クラスともグループ形式で行われました。

先生に各グループを廻ってお話していただきました。担任の先生から、勉強やクラスの様子など様々なことを直接伺うことができ、充実した懇談会となりました。保護者同士の会話も弾み、あっという間に終了の時間になってしまいました。

■中学2年

各クラスとも、先生と1対1で2分間程度の個人面談を実施していただきました。

懇談会も出席者多数で良い雰囲気でした。男子同士、女子同士の保護者で席を設けたクラスもあれば、日頃の班ごとに座ったクラスもありました。子どもたちの事がお互いに判るようになり、話題や悩みなど共通する部分も多く、どのクラスも和気あいあいと盛り上がっていました。また、災害時の対応として、通学時の安全を図るための活発な話し合いや情報交換の様子が見られました。

■中学3年

卒論計画カードが配られましたので、班ごとにカードを読み比べながらユニークなテーマに関して話し合ったり、生活面や成績の心配ごとについて触れたり、多岐にわたる話題で大いに盛り上がりました。

先生が各グループを廻ってお話して下さったクラスがあったり、先生からは日ごろ「明るく元気なクラス」と聞いて安心していましたが、懇談会で「子どもたちの明るさ＝保護者の明るさ」を改めて実感して楽しくコミュニケーションが図れたクラスがあったりと、どのクラスも時間が短く感じられるほど、楽しく盛り上がった懇談会になったようです。



懇談会でお話される山本先生



グループ席でお話される小野寺先生



歓談する保護者の様子